

オアシススケッチ

Oasis sketch

●孫の姿に頬が緩む



〈孫と舞台発表を見る祖父母たち〉

9月19日の敬老の日を前にした9月14日、草木保育園で「祖父母会」が行われました。招かれた祖父母たちは、手作りの名札をもらった後、かわいい孫たちに手を引かれ、園庭で竹馬や虫取り、保育室でおもちゃ作りや手あそびなどをして一緒に遊びました。遊戯室では元気な歌の発表やお茶のもてなしを受け、張り切って活動する孫たちの姿に目を細めていました。また、「肩たたき」の歌を歌う孫たちに、肩をたたいてもらおうと、気持ち良さそうな表情を浮かべていました。参加した祖父は「今日は孫との遊びを思い切り楽しめた」とうれしそうに話しました。

●ホタル音頭を習ったよ



〈地域の方から踊りを習う様子〉

東部小学校で9月23日、地域の方から「ホタル音頭」を習う講習会がありました。東部小学校の運動会では、児童と保護者、地域住民と一緒にホタル音頭を踊るため、経験の浅い1・2年生の児童を対象にした講習会が毎年行われています。児童らは、地域の方たちの手本を見ながら、振り付けや身のこなしを学んだ後、音楽に合わせて踊りの練習をしました。児童らの上達は早く、1時間の練習で上手に踊れるようになりました。練習を終えた児童は「回って踊るところが難しかったけど、楽しく踊れた。運動会では家族と一緒に踊りたい」と笑顔で話しました。

シリーズ食育④「社会教育課の取り組みについて～チーム麺・メンによる、夏休み子ども教室(うどん作り体験)～」

「夏休み子ども教室(うどん作り体験)」が中央公民館で8月8日に行われ、町内の小学生51人が参加しました。県内各地で、手打ちうどん作り講座を行っている「チーム麺・メン」の皆さんを講師に招き、愛知県産の小麦粉「きぬあかり」を使った手打ちうどん作りを行いました。

子どもたちは、うどんを作るだけでなく、うどんに関する手品や手作りの絵本などを通して、楽しみながら食について学びました。

うどん作りは、小麦粉に塩水を含ませてこね、一つにまとめた生地を足で踏み、麺棒で延ばした生地をたたんで包丁で切ります。生地を足で踏んで、麺のコシを強くする「踏み」の作業など、苦勞する場面もありましたが、同じグループの仲間同士で協力していました。打ちたてのうどんを、「ざるうどん」にして食べる子どもたちは「もちもちしておいしい。家でも作ってみたい」と笑顔で話していました。皆で協力して作ること、皆と一緒に食べることの喜びや幸せを味わえる貴重な体験になったようです。



チーム麺・メンの方にインタビュー

この取り組みを通して伝えたいことは何ですか？今

後の予定も教えてください。

「つくる喜び 食べる幸せ」をテーマに、参加者がうどんを作る活動を通して、「楽しい うれしい おいしい」という気持ちを味わってほしいと思っています。自分で作ったものを、お腹に入れると大変おいしく感じますよね。体験した子どもの中から、将来、名シェフが生まれたらうれしいです。

各市町の園や学校、子ども会、地域団体などからお声掛けいただき、年間60回程活動しています。皆さんに楽しんでもらえることが何よりうれしいですね。



「うどん作り体験」の様子

■問い合わせ先 産業観光課 ☎(48)1111 (内1224)